

行政視察報告書

令和元年12月13日

会派名 無所属クラブ
会派代表者 堀 元
(参加者：堀 元・大藪 豊数)

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和元年11月7日(木)
視察時間	13:00~15:00
視察先	北海道札幌市
視察項目	札幌市のスポーツ施設について

行政視察報告書

①

年月日	令和元年11月7日(木)
視察時間	13:00~15:00
視察先	北海道札幌市
視察項目	札幌市のスポーツ施設について
■目的 市民の利便性を主軸に、その要望に低料金で応え、多くの市民から親しまれており、なおかつ運営としては「儲かっている」という体育施設を視察・研究する。	
■内容 【視察に至る経緯】 北海道札幌市からお仕事のご都合で江南市に転入された市民から、江南市の体育施設の要望を聞く。この方いわく、以前住んでいた札幌市の体育施設では、予約も団体利用もなしで、ひとりでバスケットボールがしたいと390円のチケットさえ買えば施設内のバスケットコートに大勢の同じような市民がいてバスケットボールが楽しめた、と言う。札幌市同様ひとりでKTXアリーナの受付に行くと、職員からは「予約もなくおひとりでは利用できない」と伝えられたそうだ。これを我々にご相談においでになり、札幌の体育施設のようにひとりでも運動が楽しめるような、市民の誰もが使いづらいと感じない施設にならないかのご依頼があった。 我々は、すぐに札幌市内の体育施設に電話を掛け、内容を確認する。その際、先方の職員さんから「札幌の体育施設は多くの市民がご利用いただけるだけでなく儲かっていますよ。」とお聞きしたのがきっかけとなり百聞は一見に如かずということで視察・研究に行くことを決定した。 【事業内容】 札幌市の体育施設は、スポーツ施設はもちろん、プールやスケート場、全天候型のスポーツドームまでひとつの指定管理団体の運営によるものである。 我々が視察をした北ガスアリーナは、2階にあるメインのアリーナで3面のバスケットコートを設けることができ、1階には剣道場、柔道場、空手や日本拳法や薙刀ができる道場、相撲の土俵2面、全天候型の弓道場、おなじく洋弓場、ウエイトトレーニング場、スポーツジム、ヨガやダンスを行う多目的ルーム、本格的ロッカールーム、保健室、ミーティングルーム、緊急備蓄室、管理室などがある。	

市民はやってみたい、またはやっているスポーツの時間枠前に390円でチケットを購入して目的のスポーツをするアリーナに行くだけだ。

時間割表の黒の太文字はインストラクターが常駐し、そのスポーツ初挑戦の市民や初心者にも対応する。それぞれの枠で人気のバドミントンやバスケットボールなどは常に大勢の希望者で大変だが、そんな時でもスタッフがコーディネーターとして競技場に入り人員整理をしながら参加者が満足いく運営に努めている。

空いているホールなどはほとんどなく、市民の要望に大きく応えている。

スタッフの市民に対する意識がまた秀逸で、カウンターの中で対応しているスタッフよりも廊下やアリーナなどで市民と触れ合っているスタッフの姿をよく目にした。

ご担当者からは、スポーツアリーナに限らず、温水プールやスケートリンク、多目的スポーツドームやそれぞれの飲食部門でも黒字で経営しており、最後に訪れた中島スポーツセンターにあっては、雪が降ると駐車場と車道の間のスペースにノルディックスキーのコースを2.5キロメートル作り、スキー板とポールを無料で貸し出して市民に寄与しているようだ。

(画像は自身で撮影及び北ガスアリーナHPより許可を得て掲載しています)

北ガスアリーナHP <https://www.shsf.jp/chuo-g>

■所感

おそらく建物の問題ではなさそうである。運営する指定管理団体の意識が明らかに高い。小さな枠一つとっても空きスペースにせず、何かの種目を時間割に入れて市民に利用させており、借りる側の人と貸す側の人立場が多く、多くの体育施設の逆をやっているように拝察する。利用される市民が常に主役であることを念頭にお仕事をしているスタッフの姿がとても印象的であった。

いずれも我が江南でも簡単にできることである。導入するかどうかは市側の考え方ひとつであろう。

くどいようであるが、とても簡単に市民に愛され、そして儲かる体育施設が江南市でもできるはずである。